

回答の主な内容をお知らせします

回答者2,715人のうち、10～20歳代は9.1%、30歳代は11.1%、40歳代は16.3%、50歳代は17.9%、60歳代は23.5%、70歳以上は20.7%でした。

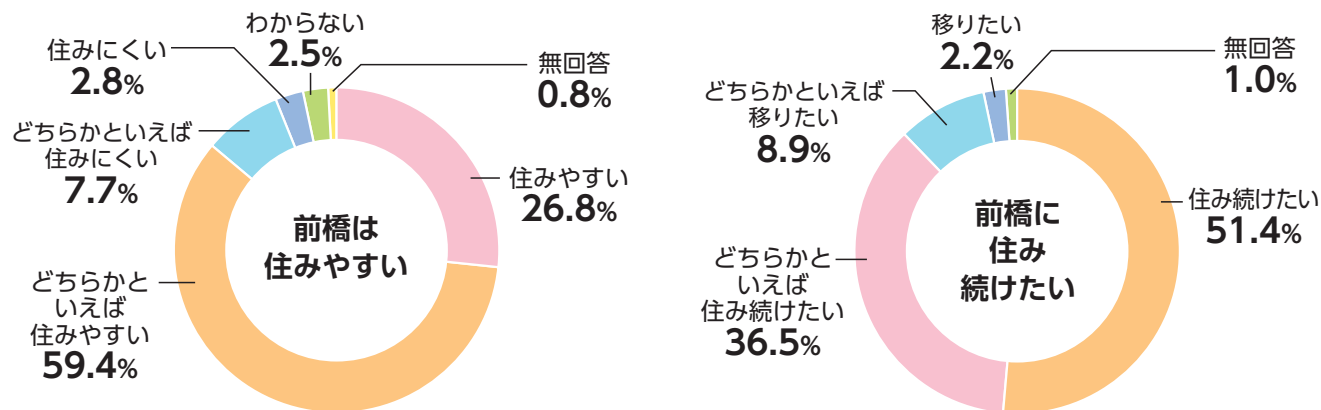
また、「前橋市が好きかどうか」という質問に対しては、全体の46.2%が「好き」、45.5%が「どちらかといえば好き」と回答があり、9割以上の人々が好印象だと分かりました。

今回実施したアンケートでは民間企業のインサイトテックと、群馬大学の力を借りて、実施しました。インサイトテックは自由記述欄の回答を人工知能(AI)を使って解析。住みやすさに関する設問を群馬大学と共に考案しました。従来の選択式のみのアンケートでは得られない、より具体的なニーズの調査ができました。市役所全体と市民の皆さんと共有し、まちづくりに生かしていただけたらうれしいです。



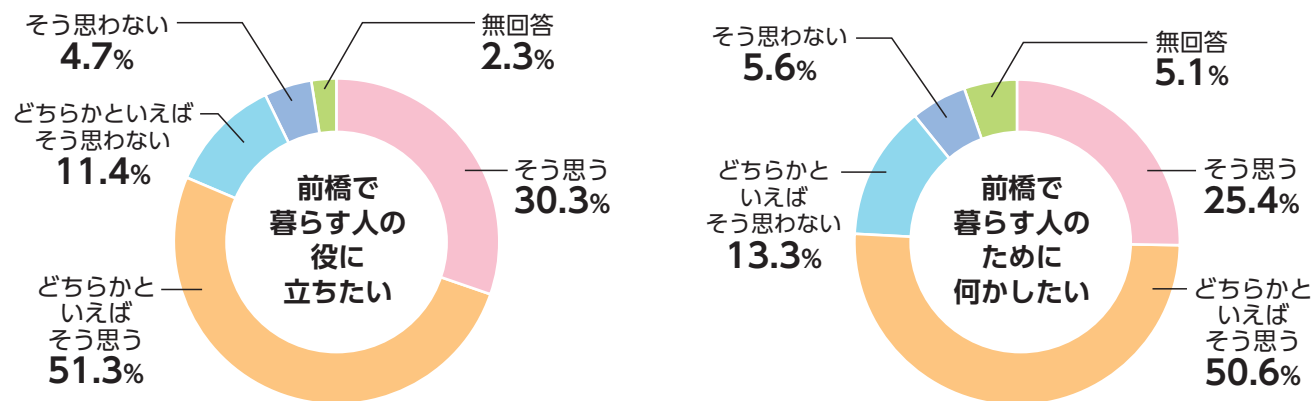
市政発信課 新島 美恵子

設問 前橋は住みやすいですか、住み続けたいですか



→9割程度が両方とも前向きに評価している。

設問 暮らす人の役に立ちたい・何かしたいと思いますか

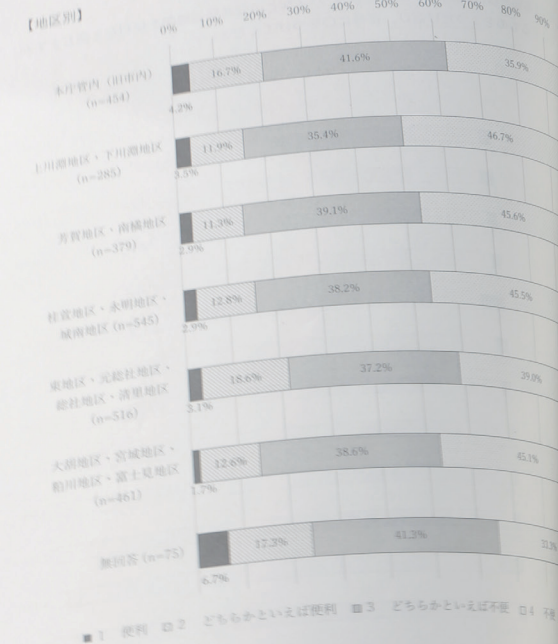


→3割程度がそう思うと共に回答。地域への愛着が貢献欲求、行動欲求につながっている。

あなたの声をまちづくりに

市民アンケートの結果を報告します

図 市政発信課 ☎027-898-6644



※地区別においても、前橋市内の公共交通機関について、「3 どちらかといえば不便」である約80%近くが回答した。
※「4 不便」であると回答した地区は、「本庁管内(旧市内)」が35.9%、「東地区・新井地区・清里地区」が39.0%であるのに対し、「上川原地区・下川原地区・青賀地区・南橋地区」は45.5%、「大田地区・宮城地区・船山地区・富士見地区」は45.1%であった。

市民の声をまちづくりに生かすため、おおむね3年に1回実施している市民アンケート。昨年10月1日を基準日に、15歳以上の市民5,000人を無作為に抽出して実施しました。その結果、2,715人(54.3%)が回答。主な内容は7ページのとおりです。地域ごとの課題なども集計し、全市民的な住みやすさに関する意見や、まちづくりに対するニーズを調査しました。

市民アンケート調査報告書は市役所情報公開コーナー、eBIX元気21まえばし、市立図書館、各支所・市民サービスセンターで閲覧できます。本ホームページにも掲載しています。